

LINE WORKSのテナント制限 構成ガイド

2019年9月

A10ネットワークス株式会社

第1.0版

本ガイドの対象読者と概要

- A10 Thunderを利用してLINE WORKSのテナント制限を実施したい方向けの構成ガイド
- A10 Thunderをプロキシとして利用し、SSLインサイトを利用することでLINE WORKSのテナント制限を実現する方法について紹介
- 対応するLINE WORKSアプリケーション*
 - ブラウザアプリ (Webアプリ)
 - PCデスクトップアプリ
 - iPhoneアプリ
- サンプル構成で利用したACOSバージョン : 4.1.4-GR1-P1

目次

- ソリューション概要
- Thunderの設定例

ソリューション概要

LINE WORKSは無料で始められる！

LINE WORKS

Myサービス 管理者画面 | ダウンロード ヘルプ

機能 セキュリティ 利用料金 導入事例 イベント 関連情報 ▼ パートナー ▼

無料で始める

登録手順はこちら

FREE PLAN

ご要望にお応えし、
無料プランがついにリリース

詳しくはこちら >

無料プラン(フリー)

FREE PLAN ¥0

- トーク
- アドレス帳
- ホーム
- カレンダー
- アンケート

OKAY!

LINE WORKS

©LINE Corporation

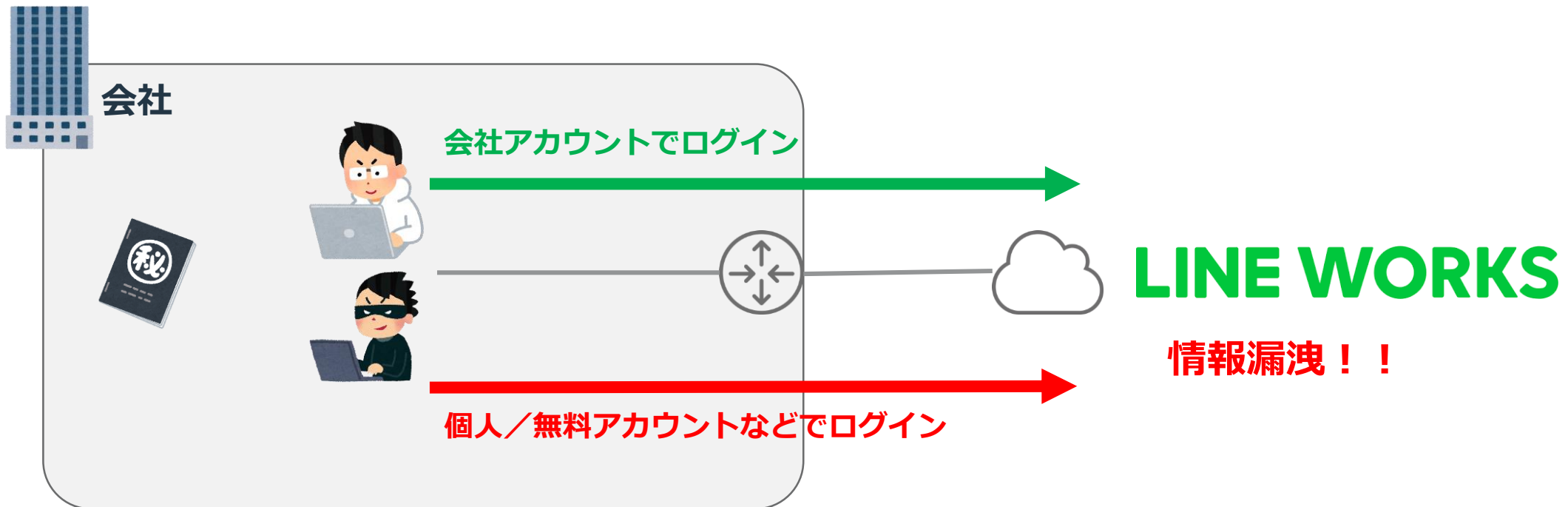
POINT 01

プライベートの確保も、
自由な働き方も、ここから。

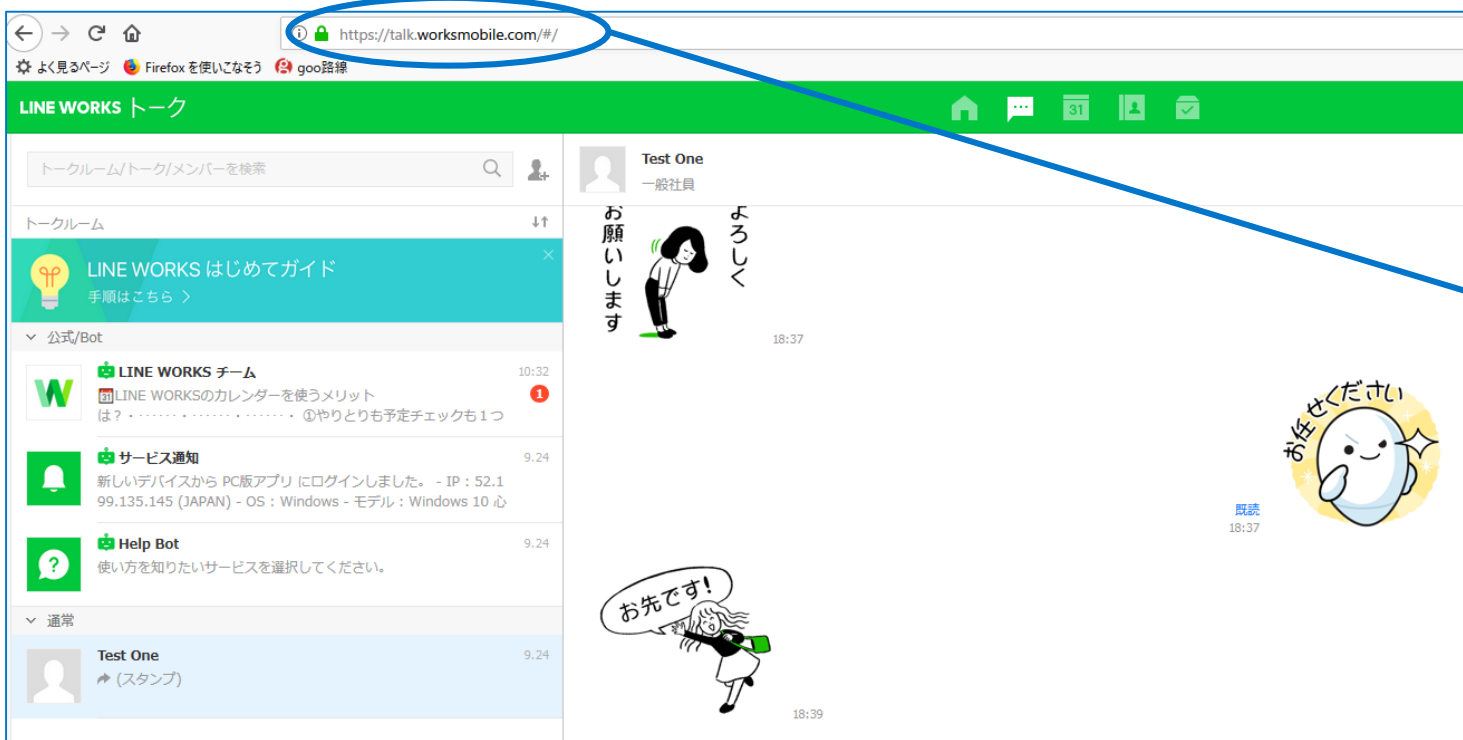


個人／無料／協力会社アカウントが利用できると…

個人／無料アカウントや協力会社アカウントを社内から利用できると、
社内の機密情報が漏洩する恐れがあります



LINE WORKSのURL



<https://talk.worksmobile.com/#/>
のように、利用ドメインに依存しない
URLが利用される

利用ドメインへのURLフィルタリングで
非許可アカウントでのログインを制約するのは不可能

LINE WORKSの利用アカウント制御

LINE WORKSのアプリケーションからの個人アカウントでのログインを制限し、承認されているアカウントのみログインを許可

- ① A10 Thunderをプロキシとして導入
- ② SSLインサートにより対象ドメインをSSL可視化
- ③ ログイン時の情報を検査し、異なるドメインへのアクセスはブロック

